

令和8年度 研究・調査企画会議 事後評価部会（第1回）

議事概要

1 日時：令和8年8月6日（木） 14：00～17：21

2 場所：食品安全委員会第二会議室（Web 会議システムを利用）

3 出席者（7名）五十音順

荒川 宜親 藤田医科大学医学部客員教授

小澤 正吾 岩手医科大学 評議員

鬼武 一夫 日本生活協同組合連合会品質保証本部総合品質保証担当

松永 民秀 名古屋市立大学大学院薬学研究科特任教授

◎眞鍋 昇 東京大学名誉教授

宮崎 茂 一般財団法人生物科学安全研究所シニアアドバイザー

横田恵理子 慶應義塾大学薬学部共同研究員

（◎：座長）

その他、食品安全委員会から祖父江委員長ほか2名が、事務局から前間事務局次長ほか6名が出席した。

4 議事概要

（1）令和7年度終了研究課題の事後評価（ヒアリング審査）

○ 令和7年度に終了した研究課題（9課題）のうち5課題の成果について事後評価を行うため、各課題の主任研究者に対しヒアリング審査を実施した。

（2）その他

○ 今後の事後評価部会の開催スケジュールについて説明した。

<事後評価対象課題>

- ・食品健康影響評価における OECD QSAR アセスメントフレームワーク(QAF)に基づく変異原性評価法の実装
- ・日本で食経験の乏しい昆虫を新食品素材とする場合のリスク評価に関する研究
- ・HEV を中心とした豚由来の食中毒起因微生物のリスク評価に向けた研究
- ・カドミウム土壤汚染地域住民の調査によるカドミウムの骨への影響と湛水管理の米中無機ヒ素濃度への影響についての検討
- ・残留農薬の遺伝毒性試験結果の解釈および評価方法の構築に関する研究

－以上－

（注：本部会は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するもの

である。)